

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19289-1	青少年自立支援事業	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
施策体系	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科	項 青少年対策費
	戦略プロジェクト		目	目 青少年対策費

②目的・概要	対象	青少年およびその家族
	目的	青少年の社会的自立の遅れに対する相談や自立に向けた支援活動を行う。
概要		青少年の自立支援を実施するため、心理士等の資格を持った支援員を配置し、ひきこもりやニート等の悩みを持つ青少年に対して相談やグループワーク、年齢や状況の段階に応じて就労・就学支援を行う。

		27年度	28年度
①	名称	グループワーク開催回数	計画値
	補足	料理教室、社会見学など	実績値
②	名称	センター周知のための広報活動回数	計画値
	補足	広報やパンフレット等によりセンターの認知度を上げる。	実績値
③	名称	相談件数	計画値
	補足	ニートやひきこもりなどの青少年の悩み相談等	実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績			
				<ul style="list-style-type: none"> 子ども支援室、適応指導教室等と連携 延べ227人の相談、37人の自室支援を実施 学校などの要請による個別訪問支援 グループワーク、小集団活動の実施 関係機関などと連携した就労就学・就学支援 学校に対する不登校支援の方針の策定 			
事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	732	平均給与額 × ③
	国庫支出金		4,098	3,996	一般職員人件費 ②	732	
	県支出金				所要人員 ③	0.10	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他				受益者負担額 ⑤		
	一般財源		4,098	3,996	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額					
	前年度からの繰越額						
	総人件費		①	732			
	総コスト		⑥	4,728			

【事業の成果】	<p>亀山市独自の施策として、福祉・教育が連携を取りながら、持続的な支援活動を行うことができた。また、近年増加傾向にある不登校児童生徒に対する支援のあり方についての方針の策定を行うことができた。</p>	総合判定	A
			順調に進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	より実効的な自立支援のために、一時的な「居場所」となるスペースの設置や、複雑深層化する支援内容に対応するための市域における支援対象者の実態把握とその実態に即した体制構築について検討する必要がある。
--------	----------	--

【改善の方向性】	支援についてより、広い視点で展開する必要性から、どのように引きこもりなどの支援対象者の実態調査を行うのかを検討するとともに、第2次総合計画及び地域福祉計画に基づいて、福祉部局との連携関係を強化して体制の構築を図る。
----------	---

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆
--------------	---------	----------------------